

第4次四日市市 スポーツ推進計画（概要版）



2022年（令和4年）3月

四日市市

第1章 スポーツ推進計画策定にあたって

1 はじめに

本市は、2007年（平成19年）2月に「四日市市スポーツ振興計画」を策定し、その後、2012年（平成24年）に「第2次四日市市スポーツ推進基本計画」、2017年（平成29年）に「第3次四日市市スポーツ推進基本計画」を策定し、5年ごとに計画の見直しを行いながら、市民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、スポーツ振興を図るため、各種事業を推進してきました。

そのような中、2020年（令和2年）初頭から新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が始まり、感染拡大防止のため、多くのスポーツイベントが中止や縮小を余儀なくされ、現在も新型コロナウイルス感染症は収束していない状況です。

2021年（令和3年）7～9月には、新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となりましたが、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されました。両大会は、多くの競技が無観客で実施される異例の大会となりましたが、日本は過去最高のメダル数を獲得し、本市出身の選手も金メダルを獲得するなど活躍し、多くの感動や夢を残しました。

また、2021年（令和3年）に開催予定であった「三重とこわか国体・三重とこわか大会」は、開催に向けて本市でも施設の整備や競技力の強化など万全の準備を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりました。

一方で、両大会に向けて整備した四日市市総合体育館や四日市テニスセンターのほか、県市の競技団体が培った競技会運営ノウハウや市民のスポーツに対する気運の高まりなど今後に残していくべき財産を得ました。

今後も、「生涯スポーツ社会」の実現を目指すとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックで盛り上がった市民のスポーツに対する機運を今後につなげ、三重とこわか国体・三重とこわか大会を契機として得た財産を活用し、スポーツ振興並びに本市のシティプロモーションにつなげていきます。

2 計画の目的

本市では、2007年（平成19年）にスポーツ推進の基本的な方向性を示す「四日市市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツ振興を目指して各種事業を実施してきました。その後、国では2011年（平成23年）に「スポーツ基本法」を定め、スポーツ振興は国家戦略として位置付けられ、県では2015年（平成27年）に「三重県スポーツ推進条例」が制定されました。

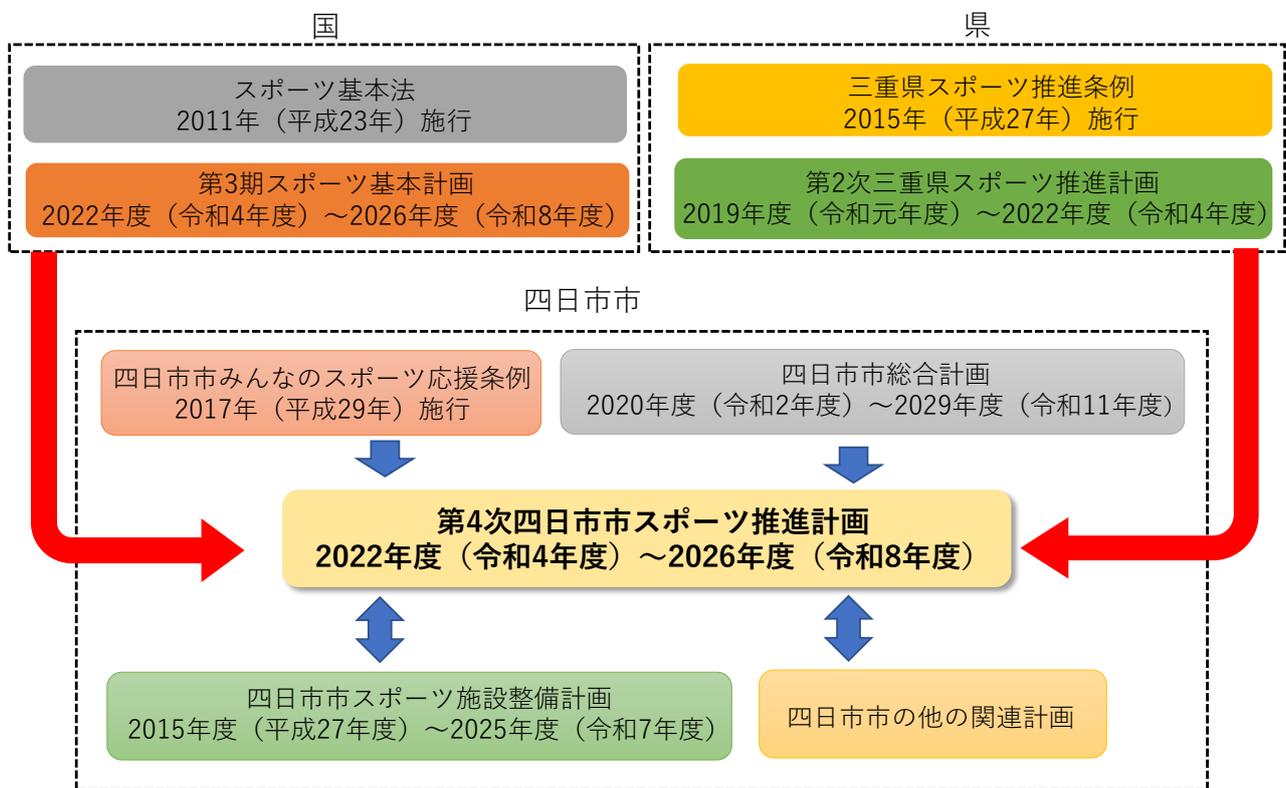
本計画は「第3次四日市市スポーツ推進基本計画」を継承するとともに、条例の内容や、本市のスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、本市のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とし、2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）までの5年間を計画期間として策定しました。

3 計画の位置付け

本市では、スポーツ基本法第10条に基づく「第2次四日市市スポーツ推進基本計画（2012年度（平成24年度）～2016年度（平成28年度））」を策定しました。

また、2016年度（平成28年度）に「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる活力のあるまちづくりの創生を目的として、基本政策やスポーツ推進にあたっての各主体の役割を定めた「四日市市みんなのスポーツ応援条例（2017年（平成29年）1月1日施行）」を制定しました。条例において「市は、スポーツの推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツの推進に関する基本的事項、具体的施策その他必要な事項を定めた計画を定めるものとする」としています。

本計画は、2020年度（令和2年度）に策定した、市の将来を見据えた総合的・計画的なまちづくりの指針となる「四日市市総合計画（2020年度（令和2年度）～2029年度（令和11年度））」を上位計画として、また、国の「第2期スポーツ基本計画（2017年度（平成29年度）～2021年度（令和3年度））」並びに四日市市の関連計画との整合性を図り、連携しながら推進されます。



第2章 四日市市のスポーツ活動の現状

1 現状と課題のまとめ

(1) 市民がスポーツ活動に取り組むための課題

① 子どものスポーツ活動推進の必要性

子どもの体力強化は市民及びスポーツ推進委員調査のいずれでも関心が高く、また子どもの頃のスポーツ経験は成人してからのスポーツ活動を高めることが判明しており、特に幼少期からスポーツの楽しさを経験することも、生涯スポーツの実践につながります。

一方、本市の子どもの体力水準については、学校体育の取り組み等により一定の成果が表れてきていますが、全国や県よりも下回る年もあるため、体力強化に取り組む必要があります。

子どものスポーツ活動を推進するには、学校の授業や部活動を通じた取り組み、スポーツ少年団等の取り組み、子どもがスポーツに触れるきっかけをつくる取り組みが重要です。また、保護者に子どもがスポーツを実施することによる効果を理解してもらい、子どもがスポーツを実施しやすくする取り組みも必要となります。

② ビジネスパersonのスポーツ活動の推進

ビジネスパersonの約半数が定期的な運動ができていないという状況の中、スポーツ活動を実施しない理由のうち「忙しいから」が最も多く、「機会がないから」「面倒だから」が続いています。一方、「美容・ダイエット」、「ストレス解消」を目的にスポーツ活動を行う方が多くみられます。

定期的なスポーツ活動は、心身の健康を高めることに加え、高齢者になったときの運動の習慣化につながります。仕事や子育てで多忙な年代の人のスポーツ活動を促進するためには、ニーズに応じた環境やプログラムが求められます。

③ 高齢者、障害者のスポーツ活動の推進

高齢者の健康に対する意識は高く、また仲間との交流の場としてスポーツを実施される方も多くみられます。高齢者のスポーツに対する意識が高まることは、介護予防や健康寿命の延伸などの効果につながります。一方で、体の不調や高齢であることを理由にスポーツを実施しない人も多くみられます。

高齢者が身近な場所で、気軽に健康状況に応じた運動・スポーツを行うことができる環境を整備することが重要であり、また運動・スポーツを通じて地域の人や多世代と交流し、高齢者の社会参加や生きがいづくりにつなげることが求められます。

また、東京 2020 パラリンピックで活躍する選手が注目を浴びるなど、近年障害者スポーツは競技性が向上しており、従来の福祉の観点のみならずスポーツ振興の観点からも推進していく必要性が高まっています。一方で、障害者がスポーツを行う環境はまだ十分とは言えない状況です。東京 2020 パラリンピックの開催を契機に、障害者がスポーツを行う環境を充実させるとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき、地域でスポーツを通じて障害者との交流が生まれる体制づくりが必要です。

④新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を踏まえたスポーツの振興

新型コロナウイルス感染症の流行は、市民や団体のスポーツ活動を減少させただけでなく、リモートワークや在宅授業の普及、ネット通販や飲食の取り寄せの興隆など、生活様式の一部に変化を生じさせています。現在、新型コロナウイルス感染症はまだ収束を見通すことができないため、万全の感染防止対策を講じながら事業を実施するとともに、スポーツ施設においては、検温や手指消毒器具の配備など感染防止対策を講じて市民が安心してスポーツを楽しむことができる環境を整えることが必要です。

感染症が収束した後も、感染防止のためのさまざまな取り組みを契機に、プロスポーツの鑑賞がネットを通じて容易にできたり、スポーツによる地域交流が SNS を通じて行われるなど、スポーツも新たな動きが加速することが考えられます。

新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて、スポーツ活動を迅速に再開できるよう支援するとともに、新しい生活様式に対応していくことができるよう取り組むことが求められます。

(2)環境整備に関する課題

①スポーツ関連団体への支援充実と指導者の育成

身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するためには、地域でさまざまなスポーツ団体が活発に活動をしていることが重要です。一方で、多くのスポーツ団体は会員や団員の減少が課題となっており、スポーツ団体の活動や、指導者育成を支援することが必要です。

また、大規模スポーツイベントの開催に向けてボランティアを募集し、運動・スポーツ活動を支える人材の育成・確保が必要です。

②スポーツ施設・設備の整備と活用

四日市市スポーツ施設整備計画に基づき、三重とこわか国体・三重とこわか大会の競技会場として、新たに総合体育館、中央フットボール場、四日市テニスセンター、霞ヶ浦第3野球場の整備を2021年度（令和3年度）に完了したほか、中央陸上競技場など老朽化した既存施設を順次改修してきました。

一方、まだ多くの施設は経年に伴う劣化等が進んでおり、市全体の四日市市公共施設個別施設計画及びスポーツ施設整備計画に基づき計画的な改修を行うとともに、新施設についても天然芝、人工芝、サーフェスや設備等の機能を維持するために、利用方法に応じた維持管理並びに計画的な設備更新・改修が必要です。改修にあたっては地球温暖化対策の観点を踏まえるとともに、バリアフリー化など、年齢、性別や障害の有無等に関わらず、すべての人々が安全にかつ快適にスポーツを楽しむことのできる施設にすることが必要です。

また、これまでの高規格、大規模な施設の整備や改修により、プロスポーツや全国大会等の大規模スポーツ大会の開催のための基本的機能は備えるものの、大規模大会等の開催に必要な備品やミーティングルームなど不足する付帯諸室・設備を加える必要があります。

さらに、中央緑地内スポーツ施設は、複数競技の大会が重なると周辺道路の渋滞や駐車場が不足します。最寄り駅の四日市あすなろう鉄道日永駅及び近鉄新正駅からの動線となる歩道整備を完了しており、路線バスとともに公共交通の十分な周知による利用促進と渋滞緩和に向けた調査研究が必要です。

③情報提供および発信の充実

市民アンケート調査では、スポーツ教室やイベントについて「知らない」と答えた方が3割を超え、また、大会・イベントに至っては半数近くの方が「知らない」と回答しています。

一方で、スポーツ推進委員へのアンケートでは情報発信や収集について「力を入れるべき」と答えた人が約9割を占めるなど、情報提供や発信については積極的に行う必要があります。特に、新型コロナウイルス感染症の収束後、元の活動状況に戻したり、新しい環境に適応させるためにも情報提供及び発信が重要になります。関連団体、関連部署との連携を図りながら充実させることが必要です。

(3)スポーツによる地域づくりの課題

①スポーツ教室、イベントの充実

ビジネスパーソンは「忙しいから」「機会がないから」「面倒だから」を理由に約半数が定期的な運動ができていないという状況です。一方で、「美容・ダイエット」、「ストレス解消」を目的にスポーツ活動を行う方が多くみられます。

また、高齢者は「高齢だから」「身体的な理由のため」を理由に約半数が定期的な運動ができていないという状況の中、「仲間との交流」を目的にスポーツ活動を行う方が多くみられます。

さらに、本市や地域が主催するスポーツ教室や大会・イベントは、市民アンケートでは参加したことがある人は1~2割にとどまっています。スポーツ教室は約4割を超える人が「知っているが参加したことがない」と答えており、大会・イベントは約半数の人が「知らない」と答えています。

スポーツ教室や大会・イベントは、スポーツを実施していない人が始めるきっかけとなるものであり、スポーツ人口を拡大するためにも重要です。スポーツ教室や大会・イベントについて、多様化する市民ニーズに対応できるよう対象や内容を検討するとともに、情報発信についても強化することが必要です。

②総合型地域スポーツクラブの育成

総合型地域スポーツクラブは「多種目・多世代・多志向」という特徴をもった地域住民により運営されるスポーツクラブです。地域の特性を活かした世代を超えた交流事業を展開するなど、地域コミュニティの活性化に貢献をしています。

本市では7つの総合型地域スポーツクラブがありますが、ほとんどが設立から10年以上を経過し、育成期から安定期に移行しつつあるものの会員数は減少傾向にあります。さらなる活性化を目指し新規会員の加入促進と会員の定着、指導者やスタッフの確保と育成を図ることが必要です。

③スポーツに触れる機会の不足

市民アンケート調査では、スポーツの観戦について、メディアで観戦したことがあると答えた人は89.6%いる一方で、直接、競技場などで観戦したことがあると答えた人は13.2%にとどまり、25.2%の人が「会場が遠いから」を理由としています。

トップアスリートによるトップレベルの競技を身近で観戦できる機会を創出するためのプロスポーツや全国大会等大規模スポーツ大会の誘致、ホームタウンチームの浸透などを図りながら市民がスポーツの魅力を感じることで「観る」スポーツの環境づくりが必要です。

第3章

スポーツ推進の基本的な考え方

【施策の体系】

目標像	基本政策	基本方針	基本施策
スポーツによる活気あるまちづくり 〈活力のある生活の実現〉	I 誰もがスポーツに親し みを持てる 機会の提供	1 ライフステー ジに応じたス ポーツ活動の 推進	①誰もが参加しやすいスポーツイベント・ 教室の充実 ②体力・健康づくりのための運動・スポーツ 活動の推進 ③障害のある人のスポーツ機会の充実
	II スポーツを 支える環境 の充実	2 子どもの体力 向上とスポー ツ活動の充実	①スポーツに親しむきっかけづくり ②子どもの体力・運動能力向上のための支援 ③スポーツを親子で楽しむ機会の充実
	III スポーツに よる地域活 性化の推進	3 競技力向上・ スポーツを支 える人材の育 成	①競技力向上のための支援 ②スポーツ指導者等の育成・支援 ③総合型地域スポーツクラブの活動支援 ④スポーツ関連団体の活動支援
	III スポーツに よる地域活 性化の推進	4 安全で快適な スポーツ施設 の管理運営	①スポーツ施設の適正管理 ②安全・安心な環境整備 ③スポーツ施設の利用促進
	III スポーツに よる地域活 性化の推進	5 スポーツを通 じた交流の促 進	①大規模スポーツイベント等の誘致 ②スポーツイベントの開催によるシティ プロモーション ③ホームタウンチーム・トップアスリートと 連携した取り組み
	III スポーツに よる地域活 性化の推進	6 情報提供・発 信の充実	①スポーツに関する情報提供・発信の充実

1 目標像

スポーツによる活気あるまちづくり ～活力のある生活の実現～

スポーツは生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものであり、青少年の体力向上と人格形成に大きな影響を与え、多世代の交流や生きがいを生み出します。

本市は、市民がそれぞれの目的（健康、生涯スポーツ、競技スポーツ等）に応じて「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」、さまざまな形でスポーツを「する、観る、支える」ことができ、スポーツを通じて健康づくり、仲間づくり、生きがいを促進し、市民の活力のある生活を実現できるよう取り組みます。

加えて、2020年（令和2年）にオープンした四日市市総合体育館をはじめとしたスポーツ施設では、プロスポーツイベントや全国大会等、市内でさまざまな大規模スポーツイベントが開催され、市外から多くの参加者、観戦者が本市を訪れる「スポーツによる活気あるまちづくり～活力のある生活の実現～」を目標像とします。

2 基本政策

本市は、目標像の「スポーツによる活気あるまちづくり」を実現するため、市民、スポーツ関連団体、事業者等と相互に協力して、「Ⅰ誰もがスポーツに親しみを持てる機会の提供」「Ⅱスポーツを支える環境の充実」「Ⅲスポーツによる地域活性化の推進」の3つの基本政策を定めて取り組みを進めます。

取り組みを進めるにあたっては、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて整備したスポーツ施設と競技団体が培った競技力や競技会運営ノウハウを活用し、東京2020オリンピック・パラリンピックの盛り上がりや今後のスポーツ振興に活かすとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中長期に渡り感染症対策と向き合う新たな生活様式の中でのスポーツ振興を図ります。

Ⅰ誰もがスポーツに親しみを持てる機会の提供

市民が、年齢、性別や障害の有無等に関わらず、それぞれの目的に応じてスポーツを楽しむ（「する」）ことができるような取り組みとして「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」を基本方針に定め、市民がスポーツを始めるきっかけづくりや、障害の程度や年齢に関わらずスポーツに親しむことができるよう、レクリエーションスポーツや障害者スポーツ等の普及に努めます。また、幼少期から生涯にわたり、スポーツを楽しむ（「する」）ことができるような取り組みとして「子どもの体力向上とスポーツ活動の充実」を基本方針に定め、子どもの頃からスポーツに親しみを持てる機会の充実と、子どもの体力・競技水準の向上に努めます。

II スポーツを支える環境の充実

スポーツを実施している市民の競技レベルの向上を支援（「支える」）する取り組みとして「競技力向上・スポーツを支える人材の育成」を基本方針に定め、スポーツの取り組みに対する支援を行うとともに、スポーツ指導者やボランティアなどのスポーツを支える人材の育成などの支援に努めます。

また、多世代・多種目・多志向のスポーツ振興に取り組む総合型地域スポーツクラブをはじめとした各種スポーツ団体の支援（「支える」）を行い、スポーツに取り組む市民に対する間接的な支援に努めます。

さらには、安全・安心にスポーツに取り組める（「支える」）よう「安全で快適なスポーツ施設の管理運営」を基本方針に定め、スポーツ施設の適切な維持管理を行うとともに、利用促進に努めるなど、スポーツを支える環境の充実を図ります。

III スポーツによる地域活性化の推進

市民がスポーツを楽しむ（「観る」）ことができるよう、また、市外の方に本市を知って（「観せる」）もらえるよう「スポーツを通じた交流の促進」を基本方針に定め、大規模スポーツ大会の誘致やホームタウンチームと連携・協働した取り組みを進めます。

また「情報提供・発信の充実」を基本方針に定め、本市のさまざまなスポーツ活動の積極的な情報提供及び発信によって市民のスポーツ活動の促進とシティプロモーションに努めます。

3 基本方針

本計画では、3つの基本政策、「Ⅰ誰もがスポーツに親しみを持てる機会の提供」「Ⅱスポーツを支える環境の充実」「Ⅲスポーツによる地域活性化の推進」に基づき、施策を推進する方向性として、以下の6つの基本方針を定めます。

基本政策Ⅰ 基本方針1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

年齢、性別や障害の有無等に関わらず、市民の誰もが、運動・スポーツに親しみを持つために、運動・スポーツを始めるきっかけとなるような取り組みや、体力・健康づくり等市民のニーズに応じた事業を実施します。

実施にあたっては、スポーツ実施率が低い子育て世代、ビジネスパーソンが参加しやすいよう託児付き教室の充実や日程等に配慮するとともに、高齢者でも無理なく参加できる種目を取り入れます。

また、東京2020パラリンピックで注目を集めたポッチャなどの障害者スポーツの大会や普及を目指したイベントを開催する等、障害の程度に関わらず、それぞれのライフステージに応じてスポーツを楽しむことができるよう取り組みます。

基本政策Ⅰ 基本方針2 子どもの体力向上とスポーツ活動の充実

子どもがスポーツを始めるきっかけとなるスポーツイベントを開催することにより、子どもがスポーツに親しみを持つことができる機会の充実を図ります。

また、親子で参加できる事業を実施し、体を動かす楽しさや喜びを親子で体感できるような取り組みを行い、スポーツを親子で楽しみ、子どもがスポーツを実施するための環境づくりに取り組みます。

さらに、学校体育を充実させることで子どもの体力の向上を図るとともに、スポーツ活動の充実を図ります。

基本政策Ⅱ 基本方針3 競技力向上・スポーツを支える人材の育成

世界大会や全国大会等の出場者への激励金やスポーツ顕彰制度の充実等を行い、スポーツの活動に対する支援を行うとともに、市民の競技力向上を図るためのトップアスリート等によるスポーツ教室等を開催します。

また、スポーツを支える人材の育成として、スポーツ指導者に対する支援や顕彰等に取り組むとともに、四日市ハーフマラソン等の大規模スポーツイベントの実施の際には、スポーツボランティアの発掘、育成に努めます。

さらに、総合型地域スポーツクラブをはじめとしたスポーツを支える各種スポーツ団体の活動を支援することで、多様なスポーツの振興、地域スポーツの促進、競技力の向上等を図り、スポーツ人口の拡大に努めます。

基本政策Ⅱ 基本方針4 安全で快適なスポーツ施設の管理運営

施設利用者が安全・安心、快適に利用できるように新型コロナウイルス感染症対策を含めた施設の適正な管理運営を行うとともに、大会運営等に支障が生じないように計画的な修繕等に努めます。また、老朽化した施設の大規模改修を行う際には、ユニバーサルデザインをはじめとした誰もが快適に利用できる施設としての環境整備も併せて検討します。

なお、施設の有効利用を図るため市民のニーズに合った、一般公開やスポーツ教室等を開催するとともに、市民利用とのバランスも踏まえた大規模スポーツ大会等の誘致に努めます。

基本政策Ⅲ 基本方針 5 スポーツを通じた交流の促進

国際大会、全国大会や国内トップレベルのリーグ戦等大規模スポーツ大会の誘致により、市民がトップレベルのスポーツを「観る」機会を提供するとともに、四日市ハーフマラソン等のスポーツイベントの開催と合わせて、市外からの集客を行う等、スポーツを通じた地域活性化、交流の促進に努めます。

また、市民が地域に根差したホームタウンチームの応援やホームタウンチームと連携したスポーツ教室等の取り組みを実施することで、市民が直接スポーツに触れる機会の充実や市民の連帯感の醸成に努めます。

基本政策Ⅲ 基本方針 6 情報提供・発信の充実

本市のホームページや広報よっかいちのほか、地域スポーツの振興に関する包括連携協定により開設した「スポーツタウン四日市」の活用など、多様な手段による積極的な情報提供・発信の充実を図り、市民が自分に合ったスポーツ活動を知り、参加することができる環境の構築に努めます。

また、シティプロモーションを促進するため、ホームタウンチームや本市ゆかりのアスリートによる本市の情報発信に努めます。

4 計画の推進にあたっての考え方

①東京 2020 オリンピック・パラリンピックと三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて培ったレガシーの継承

2021 年（令和 3 年）に東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され、本市出身の向田真優選手のレスリング女子 53 kg級金メダルをはじめ、日本がオリンピックで過去最多のメダルを獲得、パラリンピックで過去 2 番目のメダルを獲得するなど盛り上がりを見せ、本市においてもオリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルが開催されて市民のスポーツや障害者スポーツ、アスリートへの関心が高まりました。また、四日市市総合体育館ではカナダ体操チームが事前キャンプを行うなどオリンピックを通じた国際交流が行われました。

2021 年（令和 3 年）に開催予定だった三重とこわか国体・三重とこわか大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、両大会に向けて整備した施設と培い蓄積された選手の競技力、競技団体の競技会運営ノウハウや市民や各種団体に醸成されたスポーツの気運の高まりを活用し、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの盛り上がりを経験した市民のスポーツ振興に活かしていきます。

②スポーツ関連団体との連携

市内には地域で市民が主体となって多世代・多種目・多志向のスポーツ振興のための取り組みを行っている総合型地域スポーツクラブ等の団体や、競技力の向上や普及などの取り組みを行っている各競技団体が加盟する四日市市スポーツ協会をはじめとしたスポーツ関連団体があります。本市がスポーツ振興を進めていくうえでは、スポーツ関連団体の役割は重要であり、「みんなのスポーツ応援条例」にも規定されているとおり、スポーツ関連団体と密接に連携してスポーツ振興を目指して取り組んでいきます。

③SDGs とスポーツ振興

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015 年（平成 27 年）9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年（平成 28 年）から 2030 年（令和 12 年）までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。国連は「スポーツは持続可能な開発における重要な鍵となるものである」としています。

本市がスポーツ振興の取り組みを進めるにあたっては、SDGs の目標 3「すべての人に健康と福祉を」をはじめとする目標を念頭において取り組んでいきます。

④新たな時代に対応したスポーツ振興

国は、目指すべき未来社会の姿として「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」（「Society 5.0」）という概念を発表しています。

このような新たな時代において、スポーツ分野においても、トップアスリートのトレーニングにおいてICT技術が不可欠なものとなっており、アスリートから介護予防のために運動をする高齢者まで一人ひとりに適した運動・スポーツの実施や指導も可能になるといわれています。また、ICTやデータ活用による施設の維持管理・更新の効率化も期待できます。

今後、新しい考え方や技術等を取り入れながら、新たな時代に対応してスポーツ振興を推進していきます。

⑤地球温暖化対策の推進

温室効果ガス排出量削減に向けて、スポーツ施設の省エネルギー化や照明器具のLED化を進めるとともに、新エネルギー設備や効率的なエネルギーシステムの導入を検討します。

また一人ひとりがCOOL CHOICE（賢い選択）を心がけ、スポーツ活動の中でもできる地球温暖化対策に取り組んでいきます。

⑥新型コロナウイルス感染症対策について

現在、新型コロナウイルス感染症の収束は見通せていないため、市が実施するスポーツ振興のための事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて事業を実施していきます。その際は、参加者の健康確認・検温の徹底や3密回避に十分に留意していくこととし、自由参加など参加者の健康確認が難しい事業については、事業内容の見直しや事業中止を含めて検討します。

また、運動・スポーツは肥満防止や免疫力の向上の効果が期待でき、新型コロナウイルス感染症をはじめとしたウイルス感染症予防や生活習慣病予防としても有効であることから、運動・スポーツの習慣化を推進していきます。

【成果指標一覧】

基本方針	項目	現状	目標
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	市民の週1回以上の運動・スポーツの実施率	R2 47.9% (H28 49.9%)	70%
	スポーツイベント・教室の参加人数	R2 3,983人 (H30 12,163人)	25,000人
2 子どもの体力向上とスポーツ活動の充実	「運動（体を動かす運動遊びを含む）やスポーツをすることが好きである」と肯定的な回答をした児童生徒の割合	小学生 男子 71.3% 女子 52.0%	小学生 94.0%
		中学生 男子 63.5% 女子 44.3%	中学生 88.0%
3 競技力向上・スポーツを支える人材の育成	全国大会等出場選手激励金の交付延べ人数	R2 413人 (H30 1,025人)	1,300人
	過去1年間にスポーツ指導またはスポーツに関するボランティア活動を行った割合	R2 2.9% (H28 5%)	10%
4 安全で快適なスポーツ施設の管理運営	スポーツ施設利用者数	R2 712,578人 (H30 1,161,542人)	1,300,000人
5 スポーツを通じた交流の促進	直接、競技場等でスポーツを観戦した割合	R2 13.2% (H28 27.5%)	35%
	スポーツ関連の事業補助金の活用件数	R2 6件 (H30 8件)	20件
6 情報提供・発信の充実	市内の公共スポーツ施設の認知度	R2 85.4%	90%
	市主催の大会・イベントの認知度	R2 51.7%	70%

第4章 施策の展開

基本方針1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

基本施策1-① 誰もが参加しやすいスポーツイベント・教室の充実

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
四日市市民スポーツフェスタ、四日市市レクリエーション大会、各種市民スポーツ大会の開催	スポーツ推進委員、スポーツ協会、レクリエーション協会と連携して市民が参加しやすいイベントを開催します。また、参加者の増加につながる工夫も行います。	スポーツ課
ファミリーロゲイニング大会の開催	スポーツ実施率が比較的低い子育て世代をターゲットとした、家族で取り組めるアウトドアスポーツのロゲイニング大会を開催します。	スポーツ課
四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルの開催	青少年の自転車競技への関心を高めるとともに、サイクルスポーツの全国大会開催を通じて地域の活性化を図ります。	観光交流課
市民ウォーキング大会、グラウンド・ゴルフ大会の開催	スポーツ推進委員と連携して高齢者に人気のあるウォーキング大会やグラウンド・ゴルフ大会を開催します。	スポーツ課
総合型地域スポーツクラブの自主事業・イベントの支援	多世代にわたって多くの方がスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブが地域で実施する自主事業やイベントを支援します。	スポーツ課
スポーツ教室の充実	スポーツ施設及び四日市ドームにおいて、世代やニーズに合った魅力あるスポーツ教室を開催します。また、スポーツ実施率が比較的低いビジネスパーソンが参加しやすい日程や託児付きの教室を拡充します。	スポーツ課
高齢者大運動会の支援	高齢者の健康保持や地域内の老人クラブ間の交流等を目的として四日市老人クラブ連合会が開催する高齢者大運動会の事業費を補助します。	高齢福祉課

■ 基本施策 1-② 体力・健康づくりのための運動・スポーツ活動の推進

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
健康系スポーツ教室事業の開催	スポーツ施設及び四日市ドームにおいて、指定管理者と連携してヨガ・ストレッチ教室等多様化する市民ニーズに対応したスポーツ教室を開催します。	スポーツ課
ファミリー健康体力測定会の開催	スポーツ推進委員と連携し、自分の体力を測定・把握し、健康的な生活習慣を身につけることを目的に多世代を対象とした体力測定会を開催します。	スポーツ課
総合型地域スポーツクラブの自主事業・イベントの支援 【再掲】	多世代にわたって多くの方がスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブが地域で実施する自主事業やイベントを支援します。	スポーツ課
市民の健康づくりの推進	自然と健康づくりに関心をもつきっかけとなるよう、歩くことやからだを動かすことを積極的に進め、楽しみながら健康づくりに親しむ環境づくりを進めます。	健康づくり課
健康ボランティアと連携した健康づくりの推進	健康づくりに取り組む機会を広げ、機運が高まるよう、健康ボランティアを養成し、地域での健康づくりの普及や実践方法の伝達を推進します。	健康づくり課
市民が身近な場所で参加できる教室・イベントの開催	地区市民センターなど市民が身近な場所で気軽に参加することができる運動・スポーツの教室・イベントの充実を図ります。	市民生活課 地区市民センター
スポーツ関連団体、民間スポーツクラブ・事業者のノウハウを活用した事業の実施	スポーツ関連団体、民間スポーツクラブ・事業者のノウハウを活用し、市民が運動・スポーツを楽しむことができる事業を実施します。	スポーツ課
民間スポーツクラブと連携した健康づくり事業の実施	ファミリー健康体力測定会の結果を基に、民間スポーツクラブで体組成計測や健康づくりのための運動アドバイスを実施します。	スポーツ課

■ 基本施策 1-③ 障害のある人のスポーツ機会の充実

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
障害者スポーツの普及事業の実施	障害者団体をはじめ、さまざまな団体と連携しながら、障害者スポーツの普及事業を実施します。	障害福祉課 スポーツ課
障害者スポーツの大会の開催	障害者団体をはじめ、さまざまな団体と連携しながら、東京 2020 パラリンピックで注目を集めたボッチャ等の障害のある人もない人も楽しむことができる障害者スポーツの大会を開催します。	スポーツ課
スポーツ・レクリエーション大会の補助	障害のある人の社会参加を促進し、健康で文化的な生活を営むため、スポーツ・レクリエーション大会の補助等スポーツ・レクリエーションの振興に努めます。	障害福祉課
スポーツ施設利用料の減免等	日頃スポーツをする機会の少ない障害のある人に、健康の増進や体力の増強をしていただくために、スポーツ施設の利用料の減免等を行います。	スポーツ課 障害福祉課
スポーツ施設のバリアフリー化及び環境負荷低減の推進	すべての人々のスポーツの機会を広げるため、スポーツ施設の改修にあわせて「する」「観る」の視点でのバリアフリー化を進めるとともに、環境負荷低減に向け照明のLED化等を進めます。	スポーツ課
障害者スポーツ指導者の育成	障害者スポーツに取り組むスポーツ推進委員をはじめ、障害者スポーツ指導者資格の取得を支援します。	スポーツ課

基本方針 2 子どもの体力向上とスポーツ活動の充実

基本施策 2-① スポーツに親しむきっかけづくり

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
スポーツ能力測定会の開催	小学生を対象にモーションセンサー等の測定機器により運動能力を測定し、自分にあったスポーツ種目等アドバイスが受けられるイベントを開催します。	スポーツ課
アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）講習会の開催	子どもが日常の遊びを通して運動の楽しさを感じ、運動能力の向上を図るためのプログラムを子どもの指導に活用してもらうため、指導者向けの講習会を開催します。	スポーツ課
スポーツ体験会の開催	スポーツ能力測定会などのイベントと同時にスポーツ体験会を開催し、スポーツに興味がある子どもたちがスポーツを始めるきっかけを創出します。	スポーツ課

基本施策 2-② 子どもの体力・運動能力向上のための支援

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
トップアスリートによるスポーツ教室の開催	トップアスリートによるスポーツ教室の開催を通じて、子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を知ってもらうとともに、ジュニア世代の競技力強化及びスポーツの普及・振興を図ります。	スポーツ課
少年スポーツ大会の開催	学童水泳大会や学童野球大会等小学生を対象としたスポーツ大会を開催します。	スポーツ課
アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）講習会の開催 【再掲】	子どもが日常の遊びを通して運動の楽しさを感じ、運動能力の向上を図るためのプログラムを子どもの指導に活用してもらうため、指導者向けの講習会を開催します。	スポーツ課
部活動の段階的な地域移行の推進	休日部活動の段階的な地域移行の実現に向け、市内中学生が休日に地域において部活動（スポーツ）に打ち込める環境を整備します。	指導課 スポーツ課

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
学校体育の充実	「体を動かす楽しさ、心地よさを味わえる」「各種の運動を適切に行うことを通してさまざまな基本的な体の動きを身に付け、結果として体力の向上を図ることができる」など、どの子どもも運動の特性に触れながら達成感や成就感が感じられる授業づくり、日常的に運動したくなる環境づくりを進めます。	指導課
三重県中学校体育連盟三河支部への補助	市内の中学生が日頃の部活動の練習成果を確かめる大会として位置付けられる三重県中学校総合体育大会やスポーツ教室の事業費を補助します。	指導課
中学校体育大会出場選手奨励金による支援	中学校体育大会の全国大会・東海大会・県大会に出場する選手に対して、奨励金を交付し活動を支援します。	指導課

■ 基本施策 2-③ スポーツを親子で楽しむ機会の充実

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
親子で楽しめるスポーツ教室事業の開催	スポーツ施設及び四日市ドームにおいて、親子で参加できるスポーツ教室を開催します。	スポーツ課
四日市市民スポーツフェスタ、四日市市レクリエーション大会、各種市民スポーツ大会の開催 【再掲】	スポーツ推進委員、スポーツ協会、レクリエーション協会と連携して市民が参加しやすいイベントを開催します。また、参加者の増加につながる工夫も行います。	スポーツ課
スポーツが子どもにもたらす効果を伝える取り組み	保護者に子どもがスポーツを実施することによる効果を伝え、子どもがスポーツを実施することへの理解を促す取り組みを行います。	スポーツ課
ファミリーロゲイニング大会の開催 【再掲】	スポーツ実施率が比較的低い子育て世代をターゲットとした、家族で取り組めるアウトドアスポーツのロゲイニング大会を開催します。	スポーツ課

基本方針 3 競技力向上・スポーツを支える人材の育成

基本施策 3-① 競技力向上のための支援

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
トップアスリートによる スポーツ教室の開催 【再掲】	トップアスリートによるスポーツ教室の開催を通じて、子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を知ってもらうとともに、ジュニア世代の競技力強化及びスポーツの普及・振興を図ります。	スポーツ課
全国大会等出場選手激励金 (スポーツ激励金)による 支援	国際大会や全国大会等に出場する選手に対して、激励金を交付し活動を支援します。	スポーツ課
四日市市スポーツ協会加盟種 目団体への支援	四日市市スポーツ協会を通じて、各種目加盟団体やスポーツ少年団の活動の支援を行い、競技力向上や競技人口の拡大を図ります。	スポーツ課
スポーツ顕彰制度の充実	国際大会や全国大会等で優秀な成績を収めた選手の功績を称えとともに「スポーツ栄光賞」「スポーツ奨励賞」等の表彰を行い、競技意欲の向上を図ります。	スポーツ課
表敬訪問に係る情報発信	国際大会や全国大会等で活躍した選手の表敬訪問については、その情報を積極的に発信し、スポーツの機運醸成を図ります。	スポーツ課
美し国三重市町対抗駅伝への 出場	美し国三重市町対抗駅伝に出場するとともに本市代表チームの選考会や練習会の開催を支援し、ジュニア世代の発掘・育成とスポーツをする・観る・支えるすべての市民の意識高揚を図ります。	スポーツ課
ホームタウンチームと連携・ 協働したスポーツ教室等の 開催	ホームタウンチームと連携・協働し、スポーツ教室や学校への出前授業等を実施します。	スポーツ課
国体までの取り組みをレガシ ーとして継承発展させるため の大規模大会誘致	新たなスポーツ施設に加え、国体等に向けて培い蓄積された選手の競技力、競技団体の競技会運営ノウハウ、市民や各種団体で醸成されたスポーツの気運の高まりを活かした全国大会等の誘致を行います。	スポーツ課

■ 基本施策 3-②スポーツ指導者等の育成・支援

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
スポーツ推進委員の活動推進	スポーツ推進委員の確保に向けて、公募を実施するほか、自主的な運営による普及活動や研修会への参加活動を推進します。また、障害者スポーツ指導者資格の取得を支援します。	スポーツ課
スポーツ少年団と連携した指導者育成に関する取り組みの検討	スポーツ少年団と連携して、指導者の知識・資質の向上を目指した取り組みを検討します。	スポーツ課
国体までの取り組みをレガシーとして継承していくためのスポーツ指導者の育成	国体等に向けて培い蓄積された指導者の選手育成のノウハウをレガシーとして継承していくため、スポーツ関連団体と連携してスポーツ指導者の育成を行います。	スポーツ課
スポーツ指導者資格取得助成金の交付	スポーツ指導者の養成と資質の向上及びジュニア層のスポーツ活動環境の向上を図るため、各種指導者資格の取得経費を補助します。	スポーツ課
スポーツ指導者育成事業の実施	地域スポーツを支える人材を発掘・育成するため、スポーツ協会と連携してスポーツ指導者の育成に取り組みます。	スポーツ課
スポーツ顕彰の実施	永年にわたり地域スポーツの普及・発展に貢献された人に対して、「スポーツ功労賞」「スポーツ有功賞」「スポーツ地域有功賞」の表彰を行います。	スポーツ課
スポーツ分野における男女共同参画の推進	女性のスポーツ実施率向上に向けた取り組みとともに、女性スポーツ指導者の育成、スポーツ団体における女性役員の育成に取り組みます。	スポーツ課
スポーツボランティアの育成	四日市ハーフマラソン等大規模イベントにおける受付や給水所等のランナーのサポートについて、大会ボランティアを募集し、スポーツ活動を支える人材の育成・確保を図ります。	スポーツ課

■ 基本施策 3-③総合型地域スポーツクラブの活動支援

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
総合型地域スポーツクラブの強化、質的充実に向けた支援	地域スポーツ振興の中心的な役割を担う総合型地域スポーツクラブの自立と安定した運営に向け、クラブの強化、質的充実を支援します。	スポーツ課 市民生活課 地区市民センター
総合型地域スポーツクラブ協議会の活動支援	市内の総合型地域スポーツクラブで構成する協議会が実施する会員の増加、会員間の交流を図るための事業に対して支援を行います。	スポーツ課
総合型地域スポーツクラブの自主事業・イベントの支援 【再掲】	多世代にわたって多くの人がスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブが地域で実施する自主事業やイベントを支援します。	スポーツ課

■ 基本施策 3-④スポーツ関連団体の活動支援

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
スポーツ関連団体の事業に対する支援	スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団などのスポーツ関連団体が実施するスポーツの普及や振興を目的とした取り組みを支援します。	スポーツ課
スポーツ推進委員の活動推進 【再掲】	スポーツ推進委員の確保に向けて、公募を実施するほか、自主的な運営による普及活動や研修会への参加活動を推進します。また、障害者スポーツ指導者資格の取得を支援します。	スポーツ課

基本方針 4 安全で快適なスポーツ施設の管理運営

基本施策 4-① スポーツ施設の適正管理

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
スポーツ施設の効率的かつ安全で適正な管理	指定管理者制度による、スポーツ施設の目的や利用状況に応じた効率的かつ安全で適正な管理を行います。	スポーツ課
スポーツ施設の計画的な改修等の実施	「四日市市スポーツ施設整備計画」で予定している改修について、計画的に実施するとともに必要に応じて利用者ニーズを踏まえた施設環境の整備を検討します。	スポーツ課
スポーツ施設のバリアフリー化及び環境負荷低減の推進 【再掲】	すべての人々のスポーツの機会を広げるため、スポーツ施設の改修にあわせて「する」「観る」の視点でのバリアフリー化を進めるとともに、環境負荷低減に向け照明のLED化等を進めます。	スポーツ課
学校開放施設の夜間照明設備整備の検討	2021年度（令和3年度）に整備した2校の運動場と既設7校の夜間照明設備の利用状況や課題を検証し、今後の整備について検討します。	スポーツ課

基本施策 4-② 安全・安心な環境整備

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
スポーツ施設のバリアフリー化及び環境負荷低減の推進 【再掲】	すべての人々のスポーツの機会を広げるため、スポーツ施設の改修にあわせて「する」「観る」の視点でのバリアフリー化を進めるとともに、環境負荷低減に向け照明のLED化等を進めます。	スポーツ課
新しい生活様式に対応した大会やイベント、教室の運営	検温アラームシステムや自動手指消毒器設置施設の拡充など非接触型機器等導入への対応を促進します。	スポーツ課
スポーツ施設における感染症拡大防止ガイドラインの周知徹底	感染拡大防止とスポーツの両立を目指すため、スポーツ大会の開催やスポーツ施設の感染症拡大防止ガイドラインの周知徹底を図ります。	スポーツ課

■ 基本施策 4-③ スポーツ施設の利用促進

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
スポーツ教室の充実 【再掲】	スポーツ施設及び四日市ドームにおいて、世代やニーズに合った魅力あるスポーツ教室を開催します。また、スポーツ実施率が比較的低いビジネスパーソンが参加しやすい日程や託児付きの教室を拡充します。	スポーツ課
スポーツ施設についての手引きの発行	市内のスポーツ施設を紹介する手引きを発行し、施設を積極的に周知し利用率向上に努めます。	スポーツ課
公共施設案内・予約システムの充実	スポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、インターネットからの施設予約について利便性の向上やシステムの周知を図ります。	スポーツ課
スポーツ施設におけるキャッシュレス化の調査研究	利用者の利便性向上と現金収受による接触機会の低減を図るため、スポーツ施設におけるキャッシュレス化の調査研究を行います。	スポーツ課
スポーツ施設利用者の公共交通利用促進	中央緑地内スポーツ施設利用者には、利便性を周知し、公共交通利用を促進します。	スポーツ課

基本方針 5 スポーツを通じた交流の促進

基本施策 5-① 大規模スポーツイベント等の誘致

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
プロスポーツや全国大会等大規模スポーツ大会の誘致	プロスポーツや全国大会等の大規模スポーツ大会や合宿の誘致を行い、市民がトップレベルの競技を観戦する機会の創出、交流人口の拡大を図ります。	スポーツ課
スポーツ大会等開催費補助金、コンベンション事業推進補助金の活用	大規模スポーツ大会や合宿誘致の地域間競争が激化する中で、主催者に開催経費の一部を補助することにより、効果的な支援を行い、誘致を推進します。	スポーツ課 観光交流課
国体までの取り組みをレガシーとして継承発展させるための大規模大会誘致 【再掲】	新たなスポーツ施設に加え、国体等に向けて培い蓄積された選手の競技力、競技団体の協議会運営ノウハウ、市民や各種団体が醸成されたスポーツの気運の高まりを活かした全国大会等の誘致を行います。	スポーツ課
大規模スポーツ大会の開催に係る環境の整備	プロスポーツ大会や全国大会等の大規模スポーツ大会の開催に必要な諸室や設備の調査を行い、誘致競争力強化に向けた周辺環境整備に取り組みます。	スポーツ課
地域スポーツコミッションの調査研究	スポーツを通じて地域の活性化を図るため、市、スポーツ関連団体及び事業者等が連携・協働する地域スポーツコミッションについて、引き続き先進事例等の調査研究を行います。	スポーツ課
プロスポーツ興行を前提としたスポーツ施設の誘致	プロスポーツチームのホームスタジアムとしての利用が可能な大規模スポーツ施設の本市への整備について、関係機関に働きかけを行います。	スポーツ課

■ 基本施策 5-② スポーツイベントの開催によるシティプロモーション

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
四日市ハーフマラソンの開催	本市の都市魅力の発信、生涯スポーツ人口の拡大等につなげるとともに、地域活性化による経済効果の創出を目指してハーフマラソン大会を開催します。	スポーツ課
四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルの開催 【再掲】	青少年の自転車競技への関心を高めるとともに、サイクルスポーツの全国大会開催を通じて地域の活性化を図ります。	観光交流課
地域スポーツコミッションの調査研究 【再掲】	スポーツを通じて地域の活性化を図るため、市、スポーツ関連団体及び事業者等が連携・協働する地域スポーツコミッションについて、引き続き先進事例等の調査研究を行います。	スポーツ課

■ 基本施策 5-③ ホームタウンチーム・トップアスリートと連携した取り組み

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
ホームタウンチームの地域密着支援	本市に活動拠点を置き全国で活躍するホームタウンチームの浸透を図るため、市民への周知を行います。	スポーツ課
ホームタウンチームと連携・協働したスポーツ教室等の開催 【再掲】	ホームタウンチームと連携・協働し、スポーツ教室や学校への出前授業等を実施します。	スポーツ課
ホームタウンチームと連携・協働した運動動画の配信	ホームタウンチームと連携・協働し、コロナ禍においても自宅で実施できる運動動画を製作配信します。	スポーツ課
四日市市ゆかりのトップアスリートに対する応援活動の推進	四日市市にゆかりのあるトップアスリートに対して、市民一体となって応援活動を推進します。	スポーツ課

基本方針 6 情報提供・発信の充実

基本施策 6-① スポーツに関する情報提供・発信の充実

スポーツ施設の利用率を高め、スポーツ教室等の参加者を増やすために、情報提供を利用者が利用しやすい形態で行います。また、市内のスポーツ活動やホームタウンチームに関心を持つ人を増やし、地域活性化や交流につなげるために、ポータルサイト「スポーツタウン四日市」での情報発信など多様な手段での情報発信に努めます。

主な取り組み	取り組みの概要	担当課
多様な媒体を活用した スポーツ情報の積極的発信	広報よっかいちや市のホームページ、包括連携協定に基づき開設されている「スポーツタウン四日市」などでスポーツイベントや教室等スポーツに関する情報を積極的に発信します。	スポーツ課
公共施設案内・予約システムの充実 【再掲】	スポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、インターネットからの施設予約について利便性の向上やシステムの周知を図ります。	スポーツ課

第4次四日市市スポーツ推進計画（概要版）

2022年（令和4年）3月

四日市市スポーツ・国体推進部スポーツ課

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

TEL 059-354-8429

FAX 059-354-8432

E-mail sports@city.yokkaichi.mie.jp